

計画の名称	豊かな地域資源を活かした九州横断観光活性化計画(重点)												
計画の期間	令和05年度 ~ 令和09年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	宮崎県												
計画の目標	九州を横断する長崎県・熊本県・宮崎県では、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」(H27世界文化遺産登録)や「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」(H30世界文化遺産登録)等の貴重な文化遺産、さらに、ユネスコ世界ジオパーク、日本ジオパーク、ユネスコエコパーク、世界農業遺産に登録されている変化に富んだ地形や雄大な自然景観・その他で育まれた伝統文化等を有しており、これら観光資源を最大限活用すべく、各地方機関や観光団体、民間企業により観光活性化に向けたルートの設定等を実施している。また、九州横断自動車道(山都中島西IC~矢部IC(仮称)):令和5年度完成目標)の開通と併せて既存交通網と連携強化を図ることで、長崎県・熊本県・宮崎県における観光客の更なる増加が期待できる。 九州圏広域地方計画の広域連携プロジェクト「九州圏に活力をもたらす交流・連携の促進プロジェクト」を促進するため、交通拠点(新幹線駅、高速道路IC、空港、港湾等)と拠点施設(景勝地、歴史資料館、温泉街等)、拠点施設間のアクセス道路、観光案内及び観光PRなどを広域的に連携して整備することによりアクセス性や利便性を向上させ、広域的な観光活性化を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	6,479	A	6,479	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R1)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R9)
1	【長崎県・熊本県・宮崎県 共通目標】観光入込客数8,807万人(R1)から9,286万人(R9)に増加(479万人(5%)の増加) 【長崎県・熊本県・宮崎県 共通目標】観光入込客数 (観光入込客数の増加) = (評価時点の年間観光入込客数) - (R1の年間観光入込客数) (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の年間観光入込客数) / (R1の年間観光入込客数)	8807万人	9074万人	9286万人
2	【宮崎県 単独目標】 宮崎県北部地域の観光入込客数447万人(R1)から469万人(R9)に増加 (22万人(5%)の増加) 【宮崎県 単独目標】 観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の年間観光入込客数 - R1の年間観光入込客数) / (R1の年間観光入込客数)	447万人	460万人	469万人
3	【宮崎県 単独目標】 中九州横断道路竹田ICから拠点施設(ごかせ温泉周辺拠点群)への平均アクセス時間を約1%短縮 【宮崎県 単独目標】 平均アクセス時間(延長/評価時点の旅行速度*日当たり交通量)の短縮率 A11-003,A11-004,A11-005が対象 (平均アクセス時間の短縮割合) = (評価時点の平均アクセス時間 - R1の平均アクセス時間) / (R1の平均アクセス時間)	0%	0%	1%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中核都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
全体事業費に占める効果促進事業費(提案事業)割合は、0.3%となる。 観光入込客数の当初現況値は新型コロナウイルス流行前の値とする。 その他事項については(参考様式2)整備計画関連事項に記載。														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府 県道	改築	(一)岩戸延岡線・妙工 区	現道拡幅 L=0.4 k m	延岡市						350	-	
	A11-002	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府 県道	改築	(一)岩戸延岡線・鹿狩 瀬工区	現道拡幅 L=0.9 k m	延岡市						490	-	
	A11-003	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府 県道	改築	(主)竹田五ヶ瀬線・土 生工区	現道拡幅 L=0.7 k m	五ヶ瀬町						250	-	
	A11-004	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府 県道	改築	(主)竹田五ヶ瀬線・夕 塩工区	現道拡幅 L=1.1 k m	高千穂町						300	-	
	A11-005	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府 県道	改築	(主)竹田五ヶ瀬線・原 山工区	現道拡幅 L=1.6 k m	高千穂町						490	-	
	A11-006	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府 県道	改築	(主)緒方高千穂線・岩 戸1工区	現道拡幅 L=0.2 k m	高千穂町						250	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-007	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府 県道	改築	(主)日之影宇目線・赤 石2工区	現道拡幅 L=0.9km	日之影町						490	-	
	A11-008	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府 県道	改築	(主)日之影宇目線・赤 石3工区	現道拡幅 L=0.7km	日之影町						450	-	
	A11-009	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	(国)503号・北粉工区	現道拡幅 L=0.4km	諸塚村						1,050	1.5	-
	A11-010	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府 県道	改築	(主)諸塚高千穂線・赤 仁田工区	現道拡幅 L=0.2km	高千穂町						450	-	
	A11-011	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府 県道	改築	(主)諸塚高千穂線・丸 小野工区	現道拡幅 L=0.5km	高千穂町						490	-	
	A11-012	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	(国)265号・本屋敷 工区	バイパス L=0.5km	五ヶ瀬町						450	-	
	A11-013	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	修繕	(国)218号・津花3 号橋	橋梁修繕 L=0.04km	五ヶ瀬町						100	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-014	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	修繕	(国)218号・五ヶ瀬 隧道	照明LED化 N=1箇所	五ヶ瀬町						40	-	
	A11-015	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	修繕	(国)218号・高千穂 トンネル	照明LED化 N=1箇所	高千穂町						60	-	
	A11-016	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	修繕	(国)265号・若宮ト ンネル	照明LED化 N=1箇所	椎葉村						70	-	
	A11-017	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	修繕	(国)265号・佐礼隧 道	照明LED化 N=1箇所	椎葉村						20	-	
	A11-018	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	修繕	(国)265号・下椎葉 第1隧道	照明LED化 N=1箇所	椎葉村						60	-	
	A11-019	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	修繕	(国)265号・国見ト ンネル	照明LED化 N=1箇所	五ヶ瀬町						600	-	

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域連携事業	A11-020	提案	一般	宮崎県	直接	宮崎県	推進事業	推進事業	広域連携推進事業	広域観光PR 1式	延岡市他						19	-	
		道路事業(A11-001~A11-019)にあわせ、整備に伴うアクセス経路変更を反映した観光パンフレットを作成し、当該アクセス経路の活用を図る。																	
											小計						6,479		
											合計						6,479		

事前評価チェックシート

計画の名称： 豊かな地域資源を活かした九州横断観光活性化計画(重点)

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○